

目的・性格が明確でない現金等の調査結果について（平成 18 年 12 月 11 日現在）

1 経緯

匿名の投書をもとに 32 の出先機関を調査した結果、南河内府税事務所において平成 9 年度以前の不適正な会計事務処理による現金の保管が判明したことから、本庁及び出先機関の全所属を対象に、同様の現金等が職場に保管されていないかについて、調査を実施した。

2 調査内容

(1) 調査対象機関

知事部局の全課（室・所）、水道部、議会事務局、教育委員会事務局、監査委員事務局、人事委員会事務局、労働委員会事務局、収用委員会事務局、海区漁業調整委員会事務局、府立学校
〔計 362 所属（課（室・所））〕

(2) 調査方法

平成 18 年 12 月現在、職場の金庫等に目的・性格が明確でない現金等が保管されていないかについて、各所属において関係職員（経理の責任者（本庁：総括補佐等、出先：次長・総務課長等））から聞き取り調査を行った。

3 調査結果（平成 18 年 12 月 11 日現在）

調査対象機関 362 所属のうち、南河内府税事務所以外に、新たに 5 所属において、目的・性格が明確でない現金等が保管されていたことが判明。

保管されていた経緯については、現在調査中であるが、出所を調査中の 1 所属を除き、他の 4 所属については、不適正な会計事務処理により支出された現金等が返還されず、引き継がれて今日に至ったのではないかとと思われる。

所属ごとの内容は次のとおりである。

	部局・所属名	金額（円）	種類	出所	使用状況
1	健康福祉部 池田保健所	1,156,197	普通預金	不適正会計処理によるものと推測（H9年度以前）	使用あり
2	健康福祉部 公衆衛生研究所	7,000,009	現金		使用あり
3	商工労働部 産業開発研究所	1,324,471	普通預金		使用なし
4	教育委員会事務局 財務課	2,188,000	普通預金		使用あり
5	政策企画部 企画室	500,000	ホテル利用券	調査中	調査中

使用状況

・ 通帳での管理（普通預金の残高等）

	開設時期	当初金額	現在残高	入出金状況
池田保健所	(名義変更時期) H12.6.30	526,447	1,156,197	入金 967,279(保健所が管理していた別名義の通帳をまとめた際の入金や利息など。詳細は調査中) 出金 337,529(詳細は調査中)
産業開発研究所	H16.4.6	1,324,370	1,324,471	入金 101(利息) 出金 0(使用なし)
財務課	H12.7.13	2,284,000	2,188,000	入金 6,250(利息など) 出金 102,250(詳細は調査中)

入金及び出金は、通帳に記載されている金額を単純に合計したものであり、いずれの所属においても、現在の通帳以前の状況も含め、使用状況など詳細について、継続調査中。

・ 現金での管理

公衆衛生研究所は、現金により管理されており、聞き取り調査で使用ありと確認した。詳細は継続調査中。

4 今後の対応

上記5所属については、今回確認された現金等が保管されていた経過等について、関係職員から聞き取りを進めるなどにより、引き続き調査を行う。

5 その他

今回の調査に関連して、総務部法務課で、840,740円分の郵券（台帳に記載なし）が発見された。

これは、平成8年ごろまで、各課で緊急に大量発送の必要があった場合に法制文書課（当時）が立て替えて発送し、その後、各課から相当分の郵券で法制文書課へ返されたものが、現在まで残っていたものである。今後、台帳への受け入れ措置を行う。